

2014年2月27日
プロクター・アンド・ギャンブル・ジャパン株式会社
公益社団法人 セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン

P&Gとセーブ・ザ・チルドレン・ジャパン 福島市学童クラブ指導員対象「防災に関する勉強会」を開催 市内の全学童クラブに設置が未徹底の避難セット・救急セットを贈呈

プロクター・アンド・ギャンブル・ジャパン株式会社(本社:兵庫県神戸市、以下、P&G)と公益社団法人セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン(本部:東京都千代田区、以下、SCJ)は、福島市学童クラブ連絡協議会、福島市児童福祉課、福島市危機管理課と協働で、2014年2月4日、5日の両日、福島市保健福祉センターにて、福島市にある55カ所の全学童クラブ指導員を対象にした「防災に関する勉強会」を開催しました。この勉強会は、学童クラブの基本的な防災環境の整備を目的として開催しました。

勉強会では、福島市が作成した防災ガイドブックを使用し、地理的環境に根差した災害対策(地域の避難所や火山活動・洪水に関する防災マップ等)を学びました。また、P&GとSCJの福島県における防災事業支援の第一弾として、災害時に備える避難訓練や緊急の際に役立ててもらうことを目的に、避難セット55個、救急セット144個(学童クラブに所属する児童数12人に1個の割合で配布)が、市内の全学童クラブに寄贈されました。

今後、各学童クラブで子どもたちに防災を学んでもらう際に役立つ知識として、SCJから新聞紙を使ったスリッパの作り方やコップ・皿の作り方を紹介しました。P&Gからは、避難セットの中に女性用生理用品を備えておく大切さをお伝えしました。

勉強会終了後、福島市内にある学童クラブ「清明っ子」では、子どもたちが避難セット・救急セットの中身を確認し、実際に災害が発生した時にどのように使用するのか、勉強会での学びを学童クラブ指導員から教えてもらいました。

【避難セット・救急セット贈呈の背景】

- ① 東日本大震災後、福島市の学童クラブでは、防災・救急に関する意識が高まっている。
- ② 福島市の学童クラブは、学校内の施設、民家など多様な施設形態、立地条件で運営しており、避難場所への移動ルートの確保や災害に備えた備蓄が十分に整備されていない。
- ③ 多人数用の避難セット・救急セットは高価で、民営が多い福島市の学童クラブでは、クラブ予算による購入が難しい。一方、今まで市や他団体の支援によって避難セット・救急セットが配布されたことがなく、設置が徹底されていない。

【子ども視点での避難セット・救急セットの工夫点】

- ・子どもたちも非常用持ち出し袋の中身を知り、いざという時に使用できるように、中身一覧ポスターを配布。
- ・子ども達には味がない、水がないと食べられない乾パンを、「ソフト乾パン」に変更。
- ・避難時の必要性が高いにも関わらず、準備を忘れがちな「女性用生理用品」をいれる。(P&Gの提供)
- ・東日本大震災を経験した指導員の声を反映し、被災直後の支援物資が入るまで活躍した飴や、停電時に両手があげられるヘッドライトを入れる。
- ・災害時の非日常の環境へのストレス軽減のため、年齢や性別に関係ない折り紙やカードゲーム等遊び道具を入れる。

【「防災に関する勉強会」当日の様子】



P&G より、避難セット・防災セットを福島市の全学童クラブに贈呈



SCJ より、学童クラブ指導員に防災キットの内容物確認と使用方法を説明



参加した学童クラブ指導員は机に避難キット・防災キットの内容物を並べ使い方を学んだ



勉強会終了後、学童クラブ指導員は学んだ内容を子どもたちに楽しく伝えた

【P&G と SCJ の東日本大震災復興支援の取り組みについて】

P&G と SCJ は、2012 年 5 月に共同で、「P&G と SCJ の連携による被災地の子どもへの継続的支援」を実施することを発表しました。これまで P&G と SCJ は、宮城県、岩手県において「のびのび遊ぼう！おやこひろば」を共同開催してきました。「のびのび遊ぼう！おやこひろば」は、東日本大震災の影響で公園や園庭が不足し、日常生活において体を動かすことが減っている子どもたちに、全身を使って楽しむ大型遊具を中心とした、室内あそび場で遊んでもらう親子参加型のイベントです。今後は、起こりうる災害へ備え、被災地域の子もたちが自らの命を守り、防災の主体者となれるようにとの願いから、防災事業も実施します。

今回の勉強会開催にあたり、P & G はこの活動に関わる資金的な援助と共に、女性用生理用品の提供ならびに準備の必要性の啓発を行っています。

P & G と SCJ は、今後も連携して、被災地復興の原動力である子どもとその保護者に対する支援に取り組んでまいります。